

ウ 行政

- 科学的根拠に基づくがん検診を実施できるように環境を整備すること。
- がん登録の情報の利用等を通じてがんの現状把握に努めること。
- 要精検者が確実に医療機関を受診するように連携体制を構築すること。
- 生活習慣病検診等管理指導協議会の一層の活用を図る等により、検診の実施方法の改善や精度管理の向上等に向けた取組を検討すること。
- 禁煙希望者に対する禁煙支援や受動喫煙の防止等のたばこ対策に取り組むこと。
- 感染に起因するがん対策を推進すること。
- 医療機関が連携してがん診療を実施することができる環境を整えること。
- 患者やその家族等の意向を踏まえ、在宅等の生活の場での療養を選択できるようにすること。
- 在宅緩和ケアを実施すること。

コラム⑳ 企業との連携による受診率向上大作戦！

県では、企業と連携して、相互に連携・協力しながら、がんの早期発見・早期治療の推進を図ることができるよう、「がん検診受診促進企業包括連携協定」を締結し、様々な取り組みを行っています。現在、新聞社や保険会社など、31社(令和5年10月時点)と協定を取り交わしています。

■ 企業と連携して、効果的な普及啓発活動を実施しています

企業が制作したがん啓発チラシや啓発動画等を市町村等で活用したり、市町村や県が作成した啓発資材等を連携企業の企業活動の中で県民の方に配布したりするなど、相互に連携しながら効果的な普及啓発を実施しています。

また、県主催のイベントへの企業ブース出展やイベントの開催周知等への協力をいただき、一緒にイベントを盛り上げています。

■ 福島県がん検診受診促進連携協定企業等連絡会

県と各企業との意見交換する機会として、毎年、福島県がん検診受診促進連携協定企業等連絡会を開催しています。

連絡会で交わされた、企業ならではのノウハウやアイデアを有効活用しています。



[福島県健康づくり推進課]

評価指標

1 目指す姿の進捗に関する数値目標

目指す姿の達成に向けた進捗状況は、以下の指標により検証します。

<全体目標>

番号	分野アウトカムに関する指標	現況値 (調査年)	出典	目指す 方向性	目標値 (目標年)
A1	がんの年齢調整死亡率 (全がん・75歳未満・人口10万対)	74.1 (R3年)	国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(人口動態統計)	↘	57.67 (R11年)
A2	がんの年齢調整罹患率 (75歳未満、10万対)	382.1 (R1年)	全国がん登録	↘	358.6 (R11年)
A3	がん種別5年生存率	59.2% (R1年)	福島県のがん登録	↗	64.1% (R11年)
A4	現在自分らしい日常生活を送れていると 感じるがん患者の割合	72.7% (H30年)	患者体験調査	↗	100% (R11年)

第1節 がん対策

	アウトカムに関する指標	現状		目指す方向性	目標(※1)		長期目標		出典
		現況値	調査年		目標値	目標年	目標値	目標年	
<全体目標>									
A1	がんの年齢調整死亡率(75歳未満・人口10万対)	74.1	R3年	↓	57.67	R11年	-		国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
A2	がんの年齢調整罹患率(75歳未満・人口10万対)	382.1	R1年	↓	358.6	R11年	-		全国がん登録
A3	がん種別5年生存率	59.2%	R1年	↑	64.1%	R11年	-		福島県のがん登録
A4	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	72.7%	H30年	↑	100%	R11年	-		患者体験調査
<がん予防・がん検診>									
B101	がん種別罹患率(胃がん)	54.1	R1年	↓	47.1	R11年	-		全国がん登録
B102	がん種別罹患率(肺がん)	39.5	R1年	↓	(※2)		-		全国がん登録
B103	がん種別罹患率(大腸がん)	57.8	R1年	↓	(※2)		-		全国がん登録
B104	がん種別罹患率(乳がん)	92.6	R1年	↓	(※2)		-		全国がん登録
B105	がん種別罹患率(子宮頸がん)	14.1	R1年	↓	(※2)		-		全国がん登録
B106	検診がん種別早期がん割合(胃がん)	65.9	R1年	↑	72.2	R11年	-		全国がん登録
B107	検診がん種別早期がん割合(肺がん)	2.1	R1年	↑	20.7	R11年	-		全国がん登録
B108	検診がん種別早期がん割合(大腸がん)	19.8	R1年	↑	20.7	R11年	-		全国がん登録
B109	検診がん種別早期がん割合(乳がん)	7.7	R1年	↑	11.3	R11年	-		全国がん登録
B110	検診がん種別早期がん割合(子宮頸がん)	64.6	R1年	↑	71.7	R11年	-		全国がん登録
C101	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(男性)	19.6%	R4年	↓	11.0%	R9年	-		健康ふくしま21調査
C102	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(女性)	6.7%	R4年	↓	5%	R9年	-		健康ふくしま21調査
C103	喫煙率(総数)	21.4%	R4年	↓	13.2%	R11年	12.0%	R12年	国民生活基礎調査
C104	がん検診受診率(胃がん)	34.1%	R4年	↑	60%	R11年	-		健康増進事業実績報告・福島県保健福祉部集計
C105	がん検診受診率(肺がん)	32.8%	R4年	↑	60%	R11年	-		健康増進事業実績報告・福島県保健福祉部集計
C106	がん検診受診率(大腸がん)	30.3%	R4年	↑	60%	R11年	-		健康増進事業実績報告・福島県保健福祉部集計
C107	がん検診受診率(乳がん)	48.4%	R4年	↑	60%	R11年	-		健康増進事業実績報告・福島県保健福祉部集計
C108	がん検診受診率(子宮頸がん)	46.2%	R4年	↑	60%	R11年	-		健康増進事業実績報告・福島県保健福祉部集計
C109	精密検査受診率(胃がん)	88.9%	R3年	↑	100%	R11年	-		健康増進事業実績報告・福島県保健福祉部集計
C110	精密検査受診率(肺がん)	85.8%	R3年	↑	100%	R11年	-		健康増進事業実績報告・福島県保健福祉部集計
C111	精密検査受診率(大腸がん)	73.1%	R3年	↑	100%	R11年	-		健康増進事業実績報告・福島県保健福祉部集計
C112	精密検査受診率(乳がん)	91.3%	R3年	↑	100%	R11年	-		健康増進事業実績報告・福島県保健福祉部集計
C113	精密検査受診率(子宮頸がん)	85.7%	R3年	↑	100%	R11年	-		健康増進事業実績報告・福島県保健福祉部集計
<がん医療>									
B201	がん診断・治療全体の総合評価(平均点又は評価が高い割合)	8.4点	H30年	↑	8.5点	R11年	-		患者体験調査
B202	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	52.2%	H30年	↓	50%	R11年	-		患者体験調査
B203	精神・心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	67.1%	H30年	↓	50%	R11年	-		患者体験調査
B204	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	72.1%	H30年	↑	75%	R11年	-		患者体験調査
C201	初診時から確定診断までの期間が1か月未満の人の割合	75.8%	H30年	↑	80%	R11年	-		患者体験調査
C202	難治性がん(膵臓がん)診療を積極的に受け入れている拠点病院等における治療開始割合	65.7%	R1年	↑	70%	R11年	-		院内がん登録
C203	主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	51.6%	H30年	↑	60%	R11年	-		患者体験調査
C204	医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	68.5%	H30年	↑	70%	R11年	-		患者体験調査
C205	がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う小児がん患者の割合	39.5%	R1年	↑	50%	R11年	-		患者体験調査
C206	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じる若年がん患者の割合	89.0%	H30年	↑	90%	R11年	-		患者体験調査
C207	拠点病院におけるACPを含めた意思決定支援の体制整備の割合	100%	H30年	→	100%	R11年	-		患者体験調査
C208	緩和ケア研修会修了者数	194人	R4年	↑	200人以上	R11年	-		福島県保健福祉部調べ
C209	県内のがんに関する臨床研究数	11件	H30年	↑	30件	R11年	-		臨床研究等提出・公開システム(JRCT)
<がんとの共生>									
B301	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	49.5%	H30年	↑	50%	R11年	-		患者体験調査
B302	身体的・精神・心理的な苦痛により日常生活に支障を来しているがん患者の割合	71.2%	H30年	↑	70%	R11年	-		患者体験調査
C301	拠点病院におけるがん相談支援センターでの相談件数	9,535件	H30年	↑	10,000件	R11年	-		現況報告書
C302	ピアサポートが役に立ったがん患者の割合(一般がん患者)	88.1%	H30年	↑	90%	R11年	-		患者体験調査
C303	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	73.1%	H30年	↑	80%	R11年	-		患者体験調査
C304	拠点病院におけるACPを含めた意思決定支援の体制整備の割合【再掲】	100%	R5年	→	100%	R11年	-		現況報告
C305	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	33.1%	H30年	↓	30%	R11年	-		患者体験調査
C306	治療と仕事を両立するための勤務上の配慮がなされているがん患者の割合	54.0%	H30年	↑	60%	R11年	-		患者体験調査
C307	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談できたがん患者の割合	28.5%	H30年	↑	30%	R11年	-		患者体験調査
C308	がん教育を実施した学校の割合	43%	R4年	↑	50%	R11年	-		がん教育実績報告
C309	治療中に学校や教育関係者から治療と教育の両立に関する支援を受けた家族の割合	76.6%	H30年	↑	80%	R11年	-		小児患者体験調査

(※1) 医療計画の進捗管理・最終評価時に使用する値。
(※2) 適正な目標設定が困難なためモニタリング指標とします。